

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	盛岡デー開催事業			事業コード	1568
担当課等	所属名	商工観光部 ブランド推進課	担当係名		
	課長名	商工観光部 ブランド推進課	担当者名	菊池 郁	電話番号

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	活力ある産業の振興	コード 5	施策	地域資源をいかした観光・物産の振興	コード 4
	基本事業	観光地づくりと観光客の誘致	コード 1	関連予算 費目名	一般会計 7款 1項 3目 観光PR事業(010-03)	
	特記事項					
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度 ⇒(開始年度 18年度～)					
事務事業の概要	盛岡の観光・文化・特産品・祭りなどを総合的にPRするイベントを開催する。					
根拠法令等						
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
文化催事や観光プロモーションなど別個に行っていたイベントを集約し、総合的なPRを行うため、平成18年度から開催した。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
初年度は東京で開催したが、他地域でも開催するよう要望がある。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどう変化したか。今後の見通しはどうか						
関西圏や沖縄でも開催し、プロモーションを行っており、海外展開を求める声もあるが、より効果的なプロモーションのため集約を図る必要がある。						

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	首都圏在住者、沖縄県民	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 首都圏人口	単位	万人
				B. 沖縄県人口	単位	万人
				C.	単位	
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) 盛岡デー・イン・東京、沖縄を開催した。 23年度計画(23年度に計画している主な活動) 盛岡デー・イン・東京、沖縄を開催する。	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 開催延べ日数	単位	日
				B.	単位	
				C.	単位	
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	盛岡の観光・特産品・祭り・文化に親しんでもらう。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 観光客入込数 【指標の性格:●上げる ○下げる ○維持する】	単位	万人回
				B. 売上高 【指標の性格:●上げる ○下げる ○維持する】	単位	千円
				C. 【指標の性格:○上げる ○下げる ○維持する】	単位	
⑦結果 (上位基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するか)	訪れてみたいと思ってもらう	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	アンケート調査「盛岡に行って見たい、訪れてみたい」と思う割合(単位:%)		

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	首都圏人口	万人	3400	3400	3400	3400	3400	3400	27年度 3400
対象 指標B	沖縄県人口	万人	137	137	138	138	138	138	27年度 138
対象 指標C									年度
活動 指標A	開催延べ日数	日	13	21	13	10	9	9	27年度 10
活動 指標B									年度
活動 指標C									年度
成果 指標A	観光客入込数	万人回	472	459	466	444	472	478	26年度 490
成果 指標B	売上高	千円	10334	82079	54800	54793	52500	52500	27年度 60000
成果 指標C									年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	4,500	6,500	6,500	6,500	5,071	3,500	*****
財源 内訳	④国	千円							*****
	⑤県	千円		6,500	6,500	6,500			*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	4,500	0	0	0	5,071	3,500	*****
	⑧その他	千円							*****
	合計(④~⑧)(=A)	千円	4,500	6,500	6,500	6,500	5,071	3,500	*****
	延べ業務時間数	時間	200	200	200	200	200	200	*****
	職員人件費(B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	800	800	800	800	800	800	*****
	トータルコスト(A)+(B)	千円	5,300	7,300	7,300	7,300	5,871	4,300	*****


3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由: 盛岡の観光・文化・特産品・祭りに触れ、親しんでもらうことで観光客誘致につなげる。
	② 公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 盛岡のイメージアップは市が行うべき事業である。
	③ 対象の妥当性 対象の設定は現状のままでもいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 人口が多い首都圏及び盛岡とつながりを持つ沖縄県に向け盛岡のイメージアップを図る。
	④ 意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 盛岡の観光・文化・特産品・祭りに触れ、親しんでもらうことで観光客誘致につなげる。
有効性評価	⑤ 成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 向上余地がない	その内容: 特産品の販売については、購買層の把握とそれに合った商品展開及び広報宣伝の実施を行うことで成果の向上を図ることができる。
	⑥ 廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容: 盛岡のイメージアップと宣伝に寄与しており、廃止・休止は成果の低下につながる。
	⑦ 類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 類似事業がある <input type="radio"/> 類似事業がない	事業名: 観光客誘致宣伝事業, 盛岡市の物産と観光展開事業 ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input checked="" type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> できない その内容: 開催地や対象を別にしているが、統合することで成果向上を図ることができる。
効率性評価	⑧ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 削減できない	その内容: 類似事業と統合することで事業費を削減することができる。
	⑨ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 削減できない	その内容: 類似事業と統合することで人件費を削減することができる。
公平性評価	⑩ 受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 公平・公正である <input checked="" type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由:
	⑪ 費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 公平・公正である <input checked="" type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由:

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革／改善方向	①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1、代替案その2とすること 類似の事業との統合を図る。 ②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？ それをどう克服していきますか？ (関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む) 他部署との調整が必要である。
---------	--

5. 課長意見

一次評価	(1)一次評価者としての評価結果 ① 必要性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり ② 有効性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり ③ 効率性 ○ 妥当 ● 見直し余地あり ④ 公平性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり	(2)全体総括(振り返り、反省点) 観光と特産品、文化に触れ、親しんでもらうことで観光客誘致につながり、イメージアップと宣伝に寄与しているものの、同じ地域での継続開催のほうが効果が上がっていることから開催地の検討が必要である。また、同様の事業との統合について協議する。
今後の方向性と改革改善案	(3)今後の事務の方向性(改革改善案) <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 </div>		
		
方向付けの理由と改革改善の内容 23年度から同様の事業を行っている担当課と連携して事業を行い、24年度から観光客誘致宣伝事業、盛岡市の物産と観光展開催事業との統合を図る。		